

競技注意事項

1 この大会は、2026年日本陸上競技連盟規則および大会規定によって行う。

2 招集について

(1) 選手招集場は、雨天練習場に設ける。

(2) 招集完了時刻は、トラック競技15分前、フィールド競技30分前とする。

但し、棒高跳については60分前とする。

(3) 招集完了時刻に遅れた者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。

但し、全国インターハイ出場者で特別枠を行使した選手は対象外とする。

(4) 招集の手順

①招集開始時刻に競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブスと競技用シューズの点検を受ける。

②招集時の代理人は認めない。

③点呼の代理は認めない。2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、あらかじめ本人が競技者係へ多種目同時出場届（プログラムの末尾に綴込み）を提出し、あわせて招集に来ることが出来ない種目の点呼（アスリートビブス・腰ナンバーカード・スパイク・ランニングシューズなどの確認・点検）を受けておくこと。

3 競技について

(1) トラック競技は原則タイムレースとする。1次予選を行う種目は、2次予選でA決勝（上位8名）とB決勝（上位9位～16位）の結果で順位を決定する。競技によって1次予選、2次予選（16名）、3次予選（16名）で行う場合がある。又、フィールド競技は3回の試技でトップ8を決定し、更に3回の試技を行う。（走高跳、棒高跳は除く）

(2) レーン順、試技順はすべてプログラム記載の番号順とする。

(3) リレーのオーダー用紙は、招集開始時刻の2時間前から1時間前までに招集場に提出すること。

(4) レーンを使用する競技の腰ナンバーは両腰に付けること。尚、レーンを使用しない競技の腰ナンバーは貸与する。4×100mRは4走が両腰に、4×400mRは2・3走が右腰のみ、4走が両腰につけること。

(5) バーの上げ方は次の通りとする。（**開始の高さについては出場者の実情に応じて設定する**）

走高跳 （男子）1.30 50 70 （練）1.35-40-45-50-55-60-65-70-75 以後3cmきざみ

（女子）1.05 25 45 （練）1.10-15-20-25-30-35-40-45 以後3cmきざみ

棒高跳 （男子）3.00 3.50 4.00 （練）3.00-3.10-3.20 以後10cmきざみ

（女子）2.00 2.50 3.00 （練）2.00-2.10-2.20 以後10cmきざみ

順位決定の際のバーの上げ下げは、走高跳2cm・棒高跳5cmとする。

(6) やりは競技場備え付けのものを用意するが、検査を受けて自己の物を使用してもよい。但し、借り上げた後は検査を受けたやりはどれを使用しても良い。検査場所、時刻は下記の通り。

検査場所・・・100mゴール側用器具庫前

検査時刻・・・男子 1日目（7/18） 8:30 ～ 8:50

女子 1日目（7/18） 11:50 ～ 12:10

(7) 棒高跳用ポールは自己のものを使用するものとするが、跳躍審判員の点検を受けること。

(8) リレーメンバーのユニフォームは形状を統一する必要はないが、デザイン、配色は統一すること。

(9) スパイクのピンの長さは、9mmを越えてはならない。（走高跳、やり投は12mm）

(10) 三段跳の踏切板は男子11m00 女子は9m00板を使用する。

(11) 競技規則 TR5.2 に適合しないシューズの使用は認めない。ただし、サークルから行われる投てき種目用シューズについてはTR5.2の適用を除外する。